CYTOLOGIA

International Journal of Cytogenetics and Cell Biology

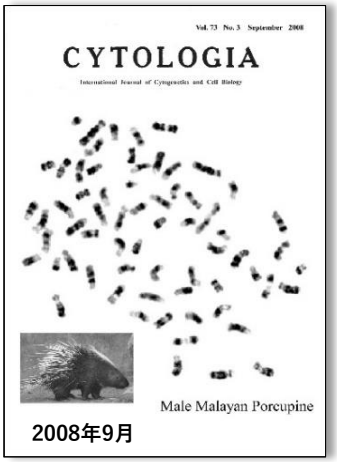
Founded by

K. Fujii in 1929

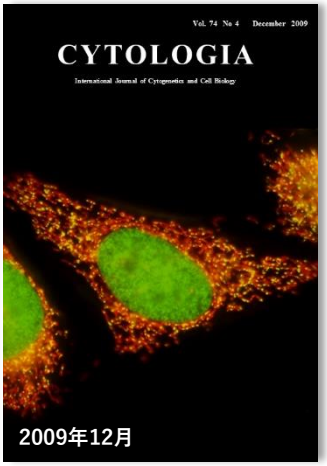
キトロギアは創刊90周年を迎えました。

国際情報発信力の強化に、皆さんの投稿をお待ちしております。

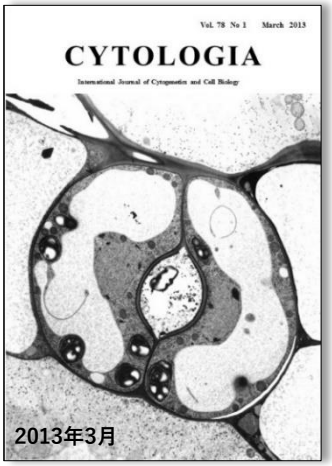
キトロギアは、原著論文、レビュー、フォーカス、テクニカルノートなどを掲載する英文学術誌です。**原著論文は6ページが基本と、短く、書きやすく、サーキュレーションがいいのが特徴です。フォーカスはキトロギアに焦点をあてた短いレビュー、テクニカルノートは大扉とペアの2ページの短報です。テクニカルノートに掲載が決まると原稿料を差し上げます。**大扉はキトロギアの表紙も兼ねていて、キトロギアが扱う代表的な分野とその時々の最新の話題が表紙になります。左から、「染色体」「ミトコンドリア」「気孔と孔辺細胞」「植物の受粉」となっています。



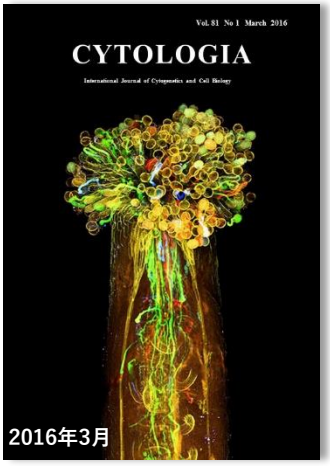
2008年9月



2009年12月



2013年3月



2016年3月

キトロギアは、科学技術振興機構(JST)の採用する電子投稿査読システム Editorial Manager ®を新たに導入、世界共通のプラットフォームでストレスレスな投稿、丁寧で親身な審査に加え、迅速な編集・出版を可能にしました。そして、**細胞遺伝学と細胞学に加え、核型解析、ゲノム科学、系統分類や生態学的な要素も加え、新たな高みを目指します。**詳しくは日本メンデル協会のHPをご覧ください。

キトロギアは、**1929 年に創刊された日本初の欧文専門科学雑誌で、分子生物学は勿論、アジアの希少生物の核型解析もフォーカスしており、今年で90周年を迎えます。**創刊号（1929）から83巻（2018）まで、JST のアーカイブサイト（J-STAGE）で自由に閲覧できます。また、Web of Science®(トムソン・ロイター）の収録は1949年から始まっており、**最近のインパクトファクター（IF）は0.913（2016)、0.481（2017)、0.922（2018）です。**

キトロギアは、1953年からは国際細胞学会（International Society of Cytology）が、1990年からは日本メンデル協会が母体となり、（財）和田薫幸会の援助や科学研究費補助金（研究成果公開促進費 15HP2012）の助成をもとに発行されています。また、編集や論文審査などは以下の方々が担当しています。

■**Editor-in-Chief:** Masahiro Hizume (Ehime University), ■**Editors:** Shigeyuki Kawano (University of Tokyo), Mitsuru Sakaizumi (Niigata University), Sachihiro Matsunaga (Tokyo University of Science), ■**Managing Editor:** Toshiyuki Nagata (University of Tokyo, Hosei University), ■**Associate Editors:** Sodmergen (Peking University), ■**Editorial Advisory Board:** Dorothea Bartels (Bonn University), Sir Peter Crane (Oak Spring Garden Foundation), William Friedman (Harvard University), Raghbir Chand Gupta (Punjabi University), Haruki Hashimoto (Kanagawa University), Dirk Inzè (Ghent University), Gerd Jürgens (University of Tübingen), Tetsuji Kakutani (University of Tokyo), Michael Kiehn (University of Vienna), Eva Matalová (Mendelianum Centre of the Moravian Museum), Shin-ya Miyagishima (National Institute of Genetics), Isamu Miyakawa (Yamaguchi University), Shinichi Miyamura (University of Tsukuba), Taizo Motomura (Hokkaido University), Soichi Nakamura (University of the Ryukyus), Yoshiki Nishimura (Kyoto University), Ken-Ichi Nonomura (National Institute of Genetics), Hisayoshi Nozaki (University of Tokyo), Yasunari Ogiwara (Yokohama City University), Nobuko Ohmido (Kobe University), Ales Pecinka (Institute of Experimental Botany, Czech Academy of Sciences), Yang Qiner (Chinese Academy of Science), Atsushi Sakai (Nara Women's University), Vijar Kumar Singhal (Punjabi University), Ichiro Tanaka (Yokohama City University), Hisashi Tsujimoto (Tottori University), Akinori Uchino (Kumamoto University), Yoshihiko Yonezawa (Naruto University of Education), Vilém Zachleder (Academy of Sciences of the Czech Republic)

公益財団法人
日本メンデル協会
The Japan Mendel Society

〒113-0033
東京都文京区本郷 2-27-2 エスペランサV
TEL:03-3814-5675　FAX:03-3814-5352